

科目名	保健体育 (バドミントン)	英語科目名	Physical Education	
開講年度・学期	平成 27 年度・後期	対象学科・専攻・学年	4 年 全学科	
授業形態	実技および講義	必修 or 選択	必修	
単位数	2	単位種類	履修単位 (30h)	
担当教員	下竹亮志	居室 (もしくは所属)		
電話	内線 185	E-mail	t-nagata1094@小山高専のドメイン	
授業の到達目標	授業到達目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準	
	1. バドミントンのルールやマナー, 基本技術を基にゲームを実践することができる	⑥	E	d-4, f, i
	2. 授業時間を通して, チームの仲間等とコミュニケーションを取りながら楽しくゲームを実践することができる	⑥	E	d-4, f, i
3. 授業準備, 練習への取り組み, 試合運営 (審判, 得点係等) などに積極的に携わり, 練習やゲームを円滑に進行することができる	⑥	E	d-4, f, i	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
1. 練習中や試合中の動作から基本技術 (アンダーハンドストローク, オーバーヘッドストローク等) をチェックするとともに, 必要に応じてスキルテストやゲーム記録表, または個人ワークシートなどの内容から総合的に評価する. 2-3. 練習や試合, または自らの試合がない時の様子等を観察することから総合的に判断し評価する. 1-3. 必要に応じて出題したレポート課題などから総合的に評価する.				
評価方法				
1. 実技点 (授業中の動作, スキルチェックおよび競技記録, ゲーム・記録測定時のプレー内容等): 40% 2. レポートおよび課題など: 10% 3. 授業態度 (遅刻, 忘れ物, 服装, 授業への参加度など): 50%				
授業内容				
●授業のガイダンスおよび種目選択【1週】				
●バドミントン【14週】				
・ウォーミングアップ・クールダウンの方法【1週】				
・グリップの握り方, 用具に慣れる【1週】				
・アンダーハンドストローク (フォアハンド)【2週】				
・アンダーハンドストローク (バックハンド)【2週】				
・オーバーヘッドストローク【2週】				
・サーブ, スマッシュ【2週】				
・リーグ戦【4週】				
* 班分け, ルール, 審判法, ゲームは各週において実施する. また, 上記の授業展開は必ずしもこの順序で行われるとは限らない.				
※以上の授業内容は, 天候や進度状況等により一部変更することがある				
キーワード	バレーボール, パフォーマンス向上, コミュニケーションスキル向上,			
	特になし			
参考書	特になし (※保健授業においては教材を教員が用意する)			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	保健体育			
現学年の関連科目	保健体育			
次年度以降の関連科目				
連絡事項				
○保健体育は出席することが前提条件である (オリエンテーションで説明する保健体育の規定欠課数を超える者については評価の対象にしない)				
1. 実技中心であるが, 最初の授業および雨天時等に保健に関する講義を行うことがある.				
2. 授業では, 学校指定のジャージ, Tシャツ, 短パンおよび運動靴を必ず着用すること. それ以外は一切認めない.				
3. 授業時の無駄な私語, 身勝手な行動, 途中退出および非協力的態度などをとる学生に対しては単位を与えない.				
4. 週番は, 授業前までに連絡事項を教員室まで聞きに来ること. また, クラスへの伝達, 出席簿の持参, 用具等の準備をする.				
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 21 日			